

地方創生関係交付金評価検証

事業名	「木都能代」拠点整備事業
交付金種別	地方創生拠点整備交付金（補助率1／2）
事業目的	能代市技術開発センター及び能代市木の学校の作業場の改修、先進機械の導入と水洗トイレの整備等を行い、木都能代の拠点としての機能向上と利便性を確保することで利用者の拡大を図り、技術開発と市場開拓を後押しするとともに、地場産業を牽引する人材の育成により木材産業の振興に寄与する。
事業年度	平成30年度
評価年度	平成30年度～令和4年度
事業費	83,972千円（うち推進交付金41,986千円）

重要業績評価指標（KPI）

	①事業開始前 (H28実績)	②R2目標値 (増加分)	③R2実績	上段：③－② 下段：目標達成率
①能代市技術開発センター及び能代市木の学校使用料等収入	2,076千円	2,166千円 (90千円)	2,434千円	268千円 112.4%
②能代市技術開発センター利用件数	1,744件	1,772件 (28件)	2,140件	368件 120.8%
③能代市木の学校利用件数	5,189件	5,369件 (180件)	6,275件	906件 116.9%

1 市の担当部署等による自己評価

①現状のまま 取組を継続	②一部改善して 取組を継続	③大幅に改善して 取組を継続	④その他 ()
-----------------	------------------	-------------------	-------------

【コメント】

令和2年度の利用者実績は、作業場の改修等を行って以降、様々な改善を行い、能代市技術開発センター及び能代市木の学校ともに目標を上回った。また、利用者増加の影響を受け、使用料等収入においても、目標を上回った。

能代市技術開発センターについては、技術相談・支援の面において支援体制の充実を図り、利用者が相談しやすい環境を整えるため、組織内の意識改革やホームページの開設に取り組んだ結果、利用者の増加に繋がっているものと考えられる。

能代市木の学校については、主催事業の木工教室が新型コロナウイルス感染症による影響を受けた中、1回あたりの受け入れ人数を減らし、開催回数を分けるといった3密を避けた対応や、定員を超える申し込みがあった際、抽選から外れた申請者に対し、別途木工教室を開催するなどの対応が功を奏し、利用者が増加しているものと考えられる。

今後とも両施設において、利用者の目線に立った柔軟な対応を検討しながら、引き続き市民への広報活動を行っていく。

【参考】

①使用料等の内訳

(単位：千円)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
技術開発センター	750	451	591	398	371	554
木の学校	1,566	1,625	1,759	1,450	1,599	1,880
計	2,316	2,076	2,350	1,848	1,970	2,434

②技術開発センター利用状況

(単位：件)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
機械使用	1,743	1,661	1,624	1,079	1,449	1,828
技術相談・指導	112	69	112	138	166	265
加工・試験等	36	14	37	31	22	47
計	1,891	1,744	1,773	1,245	1,637	2,140

③木の学校利用状況

(単位：件)

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
機械使用	3,737	3,565	3,955	3,118	3,955	4,357
木工体験者等	1,515	1,540	1,593	1,409	1,650	1,640
視察・見学	202	84	86	253	250	278
計	5,454	5,189	5,634	4,780	5,855	6,275

2 総合戦略会議委員としての評価

①現状のまま 取組を継続	②一部改善して 取組を継続	③大幅に改善して取 組を継続	④その他 ()
-----------------	------------------	-------------------	-------------

コメント